

自転車のまち宇都宮の推進

自治体情報 栃木県宇都宮市

人口 / 506,829人 標準財政規模 / 99,948百万円

- 担当課 総合政策部交通政策課
- 電話番号 直通 028-632-2133
- 実施主体 宇都宮市
- 関連ホームページ <http://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/kotsu/jitensya/index.html>
- 事業期間 平成23年度から平成27年度まで
- 関係施策分類 ②、④、⑤、⑦-ウ

予算関連データ

総事業費：62,575千円（H23）

名称	所管	金額(千円)
社会資本整備総合交付金	国土交通省	25,372
中核市・特例市グリーンニューディール基金	環境省	8,679
一般財源	-	28,524

施策のポイント

自転車を利用しやすい地形であることやアジア最高位の「ジャパンカップサイクルロードレース」の開催地であるなどの地域特性を活かし、平成22年度に、移動手段としての本来的な自転車の特性に、「環境」「健康」「スポーツ」「観光」などの新たな視点を加えた、自転車に関する総合的な計画を策定、「自転車のまち宇都宮」の実現に向けた取組を推進している。

施策の概要

1. 取組に至る背景・目的

環境意識や健康志向の高まり、自転車を取巻く環境の変化や市民ニーズの多様化などを受けて、平成15年に策定した「自転車利用・活用基本計画」における取組を引続き推進するとともに、さらなる施策展開を図るため、「自転車のまち推進計画」を策定、取組を進めている。

2. 取組の具体的内容

市民のだれもが自転車を「安全に」「快適に」「楽しく」「健康とエコ」に使えるようになることを目標に掲げ、この4つの目標を柱とした様々な施策事業を展開することで、「自転車のまち宇都宮」の実現を目指す。（以下は重点事業の内容）

- 「安全」：自転車走行空間の整備
交通安全教室の拡充（スケアードストレイト、プロチームと連携した安全教室等）
- 「快適」：休憩スポット（自転車の駅）の創出、鉄道駅周辺の駐輪場整備
- 「楽しく」：観光レンタサイクルの導入、モビリティセンターの整備
自転車マップの作成
- 「健康とエコ」：自転車モニター事業の実施

3. 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

以下の数値目標掲げ、その達成により、交通事故の減少や自転車利用者の増加などを目指していく。

- ・自転車走行空間の整備延長 9.6km⇒25.4km
- ・自転車の駅の整備数 36箇所新設
- ・鉄道駅周辺の駐輪場収容台数 6,100台⇒6,700台
- ・レンタサイクルの拠点数・利用者数 4箇所⇒14箇所、31,000人⇒41,000人
- ・エコ通勤実施企業数 4企業⇒10企業

4. 現在までの実績・成果

計画初年度である平成23年度については、10月のジャパンカップの開催に併せて、以下の新規・拡充事業を実施した。

- ・自転車の駅の設置：サイクリングルート沿いの公共施設や観光施設、コンビニエンスストアに自転車修理工具やスポーツバイク用駐輪ラックを完備した「自転車の駅」を16箇所設置
- ・レンタサイクルの拡充：貸出場所を3箇所新設、電動アシスト自転車を55台導入
- ・自転車マップの作成：サイクリングルートなどを掲載した「中心部版」「郊外部版」2種類の自転車マップを作成

5. 導入・実施にあたり工夫した点や苦勞した点とその対処法・解決策など

- ・自転車の駅の設置にあたっては、官民一体となった事業展開を図るため、観光施設やコンビニエンスストアと十分な協議調整を行った。
- ・自転車利用者のニーズを捉えた効果的な事業とするため、本市を活動拠点としているプロサイクルロードレースチーム「宇都宮ブリッツェン」の選手の意見を積極的に取り入れた。

6. 今後の課題と展開

- ・自転車走行空間の整備や交通安全教室の実施など、これまで実施してきた事業を着実に推進していくとともに、新規事業である「自転車の駅」やレンタサイクルについて、さらなる事業の高度化や拡充を図っていく。